

きしゅう会計よもやまかわら版 2017-12



こんにちは。いつもありがとうございます。きしゅう会計の名倉です。

気がつけば師走。マラソンではなく、仕事で走り回る時期に突入。というか、要領が悪い名倉は年中走り回っていますが、(^_^)

皆様はどうお過ごしでしょうか？

先月の12日に今シーズンの開幕戦として佐田岬半島マラソン(愛媛県)に参加してきました。



最近練習サボったので、身体はもうただの人、2時間切れないかも、と弱気の参戦でしたが、結果は1時間55分。去年より3分ほど遅いですが、まあまあ走れるんだ！と自信をつけました。(ただ、これくらいで満足すると若いラン友に叱られてしまうのですが、笑)。日本で一番長い半島で上りと下りだらけの厳しいコース。

でも眺めは最高、綺麗な瀬戸内海、綺麗な山、地元のおばあちゃん達の暖かい応援、また来年も来たいと思ってしまう大会です。さて、今回愛媛まで行ったのはこのマラソンがメインではなく、80歳を超えてまだ現役で小さな居酒屋を営んでいる両親が、「死ぬまでに一度故郷に墓参りに行きたい」と言い出したので、「親孝行いつやるの?」「今、でしょ!」って感じで同行することになったのです。うちの兄も一緒4人の帰郷です。



また、マラソンの前日の土曜日には故郷の従兄弟とうちの兄との3人でゴルフ。場所は大洲ゴルフ倶楽部。四国のゴルフ場は僕は初めて。120前後たたく僕がカートのリモコンを持つことを余儀なくされるといった状況だったので、スコアの方は割愛させていただきます(笑)でも、「また来年もやろうね」と楽しいゴルフでした。さて、今回の帰省ですが、もうひとつ初めての経験がありました。これは知って得する情報なので、ここからはしっかり読んでください(笑)

それは「お得なETC割引プラン」で、事前にネットで予約すると、高速道路の料金が大きく割引されるといったものです。ご存知ですか？僕も今年の夏に初めて知った情報で、まだまだ知られていないようです。地域ごとに色々プランがあるようですが、今回利用したのは当然四国バージョン！



それは「お得なETC割引プラン」で、事前にネットで予約すると、高速道路の料金が大きく割引されるといったものです。ご存知ですか？僕も今年の夏に初めて知った情報で、まだまだ知られていないようです。地域ごとに色々プランがあるようですが、今回利用したのは当然四国バージョン！

それは「お得なETC割引プラン」で、事前にネットで予約すると、高速道路の料金が大きく割引されるといったものです。ご存知ですか？僕も今年の夏に初めて知った情報で、まだまだ知られていないようです。地域ごとに色々プランがあるようですが、今回利用したのは当然四国バージョン！

それは「お得なETC割引プラン」で、事前にネットで予約すると、高速道路の料金が大きく割引されるといったものです。ご存知ですか？僕も今年の夏に初めて知った情報で、まだまだ知られていないようです。地域ごとに色々プランがあるようですが、今回利用したのは当然四国バージョン！



○「四国まるごとドライブパス! 2017」を使うとこんなにお得!
※)本四高速の料金が別途必要です。

	平日利用	金・土・日	土・日・月
通常料金*	15,590円	12,690円	12,550円
南道割引利用	四国内乗り放題と往復分がセットで 6,300円		
こんなにお得!	△9,290円	△6,390円	△6,250円

※ETC車の料金(平日昼間・休日)で計算

定額で四国の高速道路乗り放題。88箇所めぐりを車で考えてられる方にとってはとても魅力的なプランです。もちろん四国だけではなく他のプランもあります。車で長距離の移動がある場合、事前に「お得なETC割引プラン」で検索してみてくださいね。



さて、今回のよもやまでは、このETC割引の様に知って得する情報をまとめてみたいと思います。先々週のがっちりマンデーやっていた内容からになりますが、



まずは「出前館」。このホームページで郵便番号を入れて検索すると、出前をしてくれる飲食店が列挙されて、配達に掛かる時間まで表示されます。加盟店は日本全国で1万5000店舗。日本最大級の宅配ポータルサイトです。このサービスは供給するお店にも使い勝手がよくて、ネットから注文が入ると、お店にはFAXでオーダーが届くシステムなんです。パソコンに詳しい人がいなくても、FAXと電話で対応できることも大きく普及している要因なのでしょう。お店はこの出前館に注文金額の5%を支払うルールのようなので、自前でホームページを出して、運用するよりもよっぽど安上がりだし、お店によって出前売上が5割もアップしたところもあるらしいです。また、新しいサ



ービスとして、自前で配達要員を持たないお店には、新聞配達所等と提携して、その手配をしてもらえるようになってくるようです。購読者は減少傾向にある新聞配達所にとってもありがたい話ですね。

つぎは「トラボックス」簡単に説明すると、荷主と運送会社の出会い系サイト。救荷救車サービス。



トラックで荷物を運ぶ場合、目的地まで行き荷物を降ろしての帰り、空で走らなければならないこともあり、これではとても非効率。そこで、帰りに受けれる荷物がないかと、荷物を運んで欲しい依頼者をネットで探せる仕組みになっているので、



また荷物を運んで欲しい依頼者はここに提示することで、何社も見積もりを取れることになるので、安価で運んでく

れる運送業者を見つけることができるというWinWinの仕組みです。

またこのサービスは「1回いくら」といった従量制の料金システムではなく、毎月6,480円の定額制。ひと月に一度受注すれば元が取れるくらいの低価格といえるのではないのでしょうか?「そんな定額性で儲かるの?」と思われるかも知れませんが、会員会社数は現在45,400社。1ヵ月6480円なので1ヵ月6480×45,400=約294百万円294百万円×12=年間約35億円の売上。なかなかいいビジネスのようですね。



「日本理化学工業」は、50年ほど前から障害者の雇用を行っています。はじめは、近くの養護学校の先生の訪問でした。「私は養護学校の教諭をやっている者です。今度卒業予定の子どもを、あなたの会社で採用していただけないでしょうか。」障害をもつ二人の少女を、採用してほしいとの依頼でした。

社長は悩みに悩みました。その子たちを雇うのであれば、一生幸せにしてあげないといけない。しかし果たしてできるかどうか…。「お気持ちはわかりますが、うちでは無理です。申し訳ございませんが…」

しかしその先生はあきらめず、またやってきます。また断ります。またやってきます。それでも断ります。「就職が無理なら、せめてあの子たちに働く体験だけでもさせてくれませんか？ そうでないこの子たちは、働く喜び、働く幸せを知らないまま施設で死ぬまで暮らすことになります。」頭を地面にこすりつけるようお願いしている先生の姿に、大山さんは心を打たれました。「一週間だけ」この二人の少女に就業体験をさせて



あげることにしました。就業体験の話が決まると、喜んだのは子どもたちだけではありません。先生方ももちろん、ご父兄たちまでた

いそう喜んだそうです。会社は午前8時から。しかし、その子たちは雨の降る日も風の強い日も、毎日朝の7時に玄関に来ていたそうです。お父さん、お母さん、さらには心配して先生までいっしょ



に送ってきたといいます。親御さんたちは夕方の3時くらいになると「倒れていないか」「何か迷惑をかけていないか」と、遠くから見守っていたそうです。そうして一週間が過ぎ、就業体験が終わろうとしている前日のこと

です。「お話があります」と、十数人の社員全員が社長を取り囲みました。「社長、あの子たちを正規の社員として採用してあげてください。もし、あの子たちにできないことがあるなら、私たちがみんな



でカバーします。」社員みんなの心を動かすほど、その子たちは朝から終業時間まで、何しろ一生懸命働いていたのです。仕事は簡単なラベル貼りでしたが、10時の休み時間、お昼休み、3時の休み時間にも、仕事に没頭して、手を休めようと



しません。毎日背中を叩いて、「もう、お昼休みだよ」「もう今日は終わりだよ」と言われるまで一心不乱だったそうです。ほんとうに幸せそうな顔をして、一生懸命仕事をしていたそうです。社員みんなの心に響いて、社長は採用することにしました。一人だけ採用

というのはかわいそうだし、何よりも職場で一人ぼっちになってしまうのではないかと、二人ならお互い助け合えるだろうと、二人に働いてもらうことになりました。それ以来、障害者を少しずつ採用するようになっていきましたが、社長には、一つだけわからないことがありました。毎日働くよりも施設でゆっくりのんびり暮らしたほうが幸



せなのではないかと思えたのです。なかなか言うことを聞いてくれず、ミスをしたときなどに「施設に帰すよ」と言うと、泣きながらいやがる障害者の気持ちが、初めは分からなかったのです。そんなとき、あるお坊さんにその疑問を尋ねてみたそうです。

すると「そんなことは当たり前でしょう、幸福とは、①人に愛されること、②人にほめられること、③人の役に立つこと、④人に必要とされることです。そのうちの②人にほめられること、③人の役に立つこと、そして④人に必要とされることは、施設では得られないでしょう。この三つの幸福は、働くことによって得られるのです」と教えてくれたそうです。「その4つの幸せのなかの3つは、働くこと



を通じて実現できる幸せなんです。だから、どんな障害者の方でも、働きたいという気持ちがあるんですよ。施設のなかでのんびり楽しく、自宅でのんびり楽しく、テレビだけ見るの



が幸せではないんです。真の幸せは働くことなんです」この言葉で社長は「人間にとって“生きる”とは、必要とされて働き、それによって自分で稼いで自立することなんだ」ということに気づいたそうです。

「それなら、そういう場を提供することこそ、会社にできることなのではないか。企業の存在価値であり社会的使命なのではないか」それをきっかけに、以来50年間、日本理化学工業は積極的に障害者を雇用し続けることになったのです。

facebook 涙がとまらない

出典元: (日本でいちばん大切にしたい会社 坂本光司)

<名倉コメント>

「働くことが一番幸福」だということはいつい忘れがちです。このお坊さんの言葉はそれを論理的に説明してくれています。忘れないようにちゃんと噛み砕いて身体に吸収させましょう。「お坊さんの幸福4要件」と銘打ちましょう。「仕事って楽しいもの」なんです。それをより実感できる職場作りも経営者の仕事なんですよ。

さて、初めにお話ししました、両親連れての故郷帰りですが、結論とてともいうか、予想以上に喜んでくれました。故郷の母屋のおばちゃんも僕たちの従兄弟たちも大歓迎してくれて時の経つのを忘れてしまうくらいの楽しい宴が続きました。(父は1人でずっと演説してました 笑)そこで気づいたんです。

最近不幸ごとがあった時しか故郷に戻ってなかったんですね。それもバタバタで。皆様も冠婚葬祭に関係なく、ゆっくりの故郷帰りってなかなかいいもんですよ。